

## 音楽再生における気分に応じた選曲機能の開発

羽野島 和喜

現在では、パソコンやタブレット、携帯電話などの情報端末を用いて音楽を再生することが多くなっており、再生する機能も追加・高機能化され多彩となっている。しかし、未だに実現されていない機能や既存の機能では補うことができない部分もある。作業の妨げにならないように手間をかけずに音楽を再生する機能については、まだ十分とは言えない。曲を探し再生する機能やシャッフル機能などでは、手間がかかることや作業の妨げになってしまうことが問題となってくる。

本研究では、利用者の手間をかけさせず、作業の妨げにならないようにするために気分を入力することでそれに合った音楽を選曲し、再生することを目的とする。ユーザは音楽を選曲する際に、その時の気分で音楽を選んでいると考えられる。気分を入力することでそれに合った音楽を選曲するためには、まずどのような気分にどの音楽が合うのかを対応付ける必要がある。そのために気分を言葉で表し、その言葉と音楽と結びつける方法が考えられる。本研究では、気分を言葉で表したものを気分語とする。気分語は、先行研究の音楽に関する感性語対を用いる。気分語と曲を適切に結び付けるために、曲の評価をコメントとして言葉で表し残すことができる CGM サイトを利用する。そのコメントと気分語を照合し、曲と気分語を結びつける。本研究では、ニコニコ動画のコメントを利用し、ニコニコ動画の API を用いてコメントを取得した。

本研究では、取得したコメントと気分語をただ照合するのでは、照合できた割合が低かったため、気分語と曲の結びつけの際に以下のような処理を行った。気分語の品詞を変形したものとの照合、コメントに使用されている文字を統制し MeCab による形態素解析をしたものとの照合、そして気分語に類語を付与したものとの照合を行った。以上の処理の組み合わせ方と照合の結果、気分語が割当てられた曲数を調べた。その結果、類語を用いた照合が気分語と曲の結び付けにもっとも効果があることが分かった。

残された課題としては、「穏やかでない」などの「ない」という否定形の助詞がコメントに含まれた場合、コメントの「穏やかでない」から気分語の「穏やか」を照合してしまい、「穏やかでない」曲を「穏やか」の気分語と結び付けてしまうという問題が挙げられる。このような矛盾をなくすためにも、言葉と言葉の結びつきにも着目して、照合が行えるようにする必要がある。また、複数の気分語に付与されている類語をどちらかにするか、どちらからも取り除くか、あるいは両方このままにするかが課題として挙げられる。複数の気分語に応じた曲もあると考えられるが、すべてが当てはまるわけではないので、検討する必要がある。

(指導教員 阪口哲男)